

敬天新聞社編集部様

いつも貴紙のブログを拝読させて頂いています。

数あるネットメディアのなかでも群を抜く斬新かつ鋭い取材による「悪党退治」は、不条理が横行する今の世の中にあってまさしく一服の清涼剤です。

先日来、貴紙が取り上げていたLCレンディング社もまた、紛れもない「悪党」です。

私自身、友人のひとりであるLCレンディングの元社員から、今回のワールドエースカントリークラブ買収の信じられない顛末を聞いていただけに、それを見事に報道した貴紙の慧眼ぶりに、改めて感服させられた次第です。

貴紙が「反社会的勢力」と指摘する「浦郷直樹」の名前は、数年前に取り寄せた『川崎・東田町物件』の資料を分析している際に初めて目にしました。

数名の死者が出た同物件は、当時“川崎の怨霊物件”と呼ばれていました（事実、幽霊が出たとの噂もありました）が、雲霞の如く集った事件屋たちは、そんなことにはお構いなしで、丁々発止の争奪戦が繰り広げていました。

その蛸集した事件屋たちのなかで、事実上の「構成員」と言われてもおかしくないほどに広域暴力団と密着、詐欺師的な動きを繰り返していたのが浦郷でした。

当時の浦郷の“金主”は、千葉県最大の葬儀会社「C社」（船橋市）でしたが、余談ながら、このC社もまた「広域暴力団お抱えの葬儀屋」として、つとに有名でした。

百歩譲ろうと、千歩譲ろうと、浦郷は200%パーフェクトな反社会的勢力の一員です。

そんな浦郷とタッグを組んで、3000万円の「袖の下」欲しさに「ゴルフができないゴルフ場」に8億3000万円を投資したばかりか、浦郷の姻戚関係にある人物と共にゴルフ場運営会社の社長に就いた「山中健司LCレンディング社長」もまた、紛れもない反社会的勢力の一員とすべきです。

LCレンディング社のホームページ上の会社案内には、高らかに反社会的勢力との断絶を謳っています。

これをブラック・ジョーク、否、ウルトラ・ブラック・ジョークと言わずして何と言えば良いのでしょうか。

厚顔にも程度というものがあります。

反社会的勢力と意を通じて、売るに売れない、万が一、売却したところで二束三文にしかならないゴルフ場に投じた資金は絶対に回収不可能です。

折しも、同業の「みんなのクレジット社」が、金融庁からの度重なるイエローカードで破綻も秒読みとされています。

『みんクレ』の後を追うのは『LCレンディング社』だ!』との声も聞こえていますよ。

ツルの恨返し